

TEAM IMPUL

Race result report



2013年 SUPER GTシリーズ 第2戦
静岡県 富士スピードウェイ
(2013年4月28日～4月29日)

有限会社ホシノレーシング

2013年 SUPER GT シリーズ第2戦 静岡県 富士スピードウェイ (4月28日～4月29日)

カルソニック、力走届かず5位!!

カルソニック TEAM IMPUL No.12
ドライバー: 松田次生／J.P.オリベイラ

2013年、4月28日～4月29日 静岡県 富士スピードウェイで行われました全日本スーパーGT選手権開幕戦の結果をご報告させていただきます。

チームは岡山でのミスを十分にシミュレーション、対策を施し、得意としている富士に入りました。



4月28日(日) ゴールデンウィーク序盤の昭和の日に決勝を行うスケジュールで開催されたスーパーGT第2戦は、公式走行から、TOYOTA 勢がタイムを伸ばし、それにNo.23、No.12が絡むという図式が続きました。

様々なチェックを行いつつそれなりのタイムを出したあとは、燃料を満タンにし、決勝でのタイヤチョイスに主眼を置いたロングランテストを両ドライバーともに取り組み、正午からの予選に備えました。

予選Q1: 今回の予選はノックアウト方式。Q1は松田がアタックを担当、途中赤旗中断がありましたが、トップと0.06秒差というさすがの走りで3番手のポジションでQ1通過となりました。

予選Q2: J.P.がアタック。他車がタイムアップする中、なかなか期待通りにタイムをのばす事が出来ず6位で終了。3～4位を狙っていたのですが、やや残念な予選結果となりました。しかし今回は500kmという長丁場のレース、我慢強くチャンスを待てば勝機は充分にあります。チームは決勝へと気持ちを切り替え遅くまでミーティングを行い決勝へと備えました。





29日（月）早朝から多くのファンがスタンドを埋め、また、好天にも恵まれ絶好のレース日和、朝のフリー走行では3位と好位置をマーク。しかし予選で上位を占めたTOYOTA 勢は燃料を多量に充填した状態でも速く、厳しい戦いになる事は必至でした。また、今回は500km／110周という長距離レースのため、2回のピットインとドライバー交替が義務づけられておりレースの流れとタイヤの消耗度合いを考慮しつつ、そのタイミングを図る事がたいへん重要になります。チームは、スタート：J.P.（35周）、松田：（40周）、J.P.（35周）をそれぞれの暫定基本周回数として想定しました。

決勝：スタートはJ.P.から。サードロー6番手からスタートするもスタート直後の混乱の中、一時順位を落としてしまいましたが、すぐに最終コーナーでJ.P.らしいオーバーテイクで順位を6位に挽回、1～6位が形成したトップグループの中で序盤を走行しました。



レースは10周を過ぎた頃から均衡が破れ、No.36が抜け出し、それをNo.39が追う展開に…。No.23、No.6、No.38、No.12がセカンドグループでしたが9周目にNo.23がトラブルで脱落、そのためNo.12は5位に順位を上げ快走。しかし上位のTOYOTA 勢に徐々に差を広げられ、しかもNo.37に追い上げられるという厳しい状況となりました。しかしJ.P.はキレのある走りで防御し、39周目にピットイン。その際に先にピットに入っていたNo.37に前に出られてしまいましたが、交替した松田は離される事無く堅調な走りで77周目に2度目のピットイン、ドライバーは再びJ.P.に。ピットワークもミス無くこなしピットアウト時に再びNo.37の前に出る事に成功、後半No.37の猛追を受ける事となりましたがJ.P.はファステストラップを出すなど力走で突き放し、TOYOTA 勢の1位～5位独占を阻み5位入賞、更には日産勢最上位を果たしました。

今回は予想以上の他車の速さに表彰台を逃しましたが、両ドライバー、スタッフ一同、それぞれベストのワークを成し遂げてくれました。マシンの開発、対策を更に進め次戦につなげます。皆様、応援ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ゼネラルマネージャー 金子 豊

●星野 一義（監督）

ウーン、こんなに速いとはね!!
苦しい戦いの中でドライバーは良く走ってくれたし
スタッフもミス無く、トラブルも皆無なレースウィークでした。
本当に全員に礼を言いたい。
マレーシアは我々としても勝つチャンスがあるし、全力でやりますよ。

●松田次生（ドライバー）

ちょっと追いつけませんでした。
でもチームとしてはしっかり5位に入りましたし、次戦頑張ります。

●J.P.オリベイラ（ドライバー）

今回は星野さんにOKをもらった。
プッシュしたがTOYOTAが速くてね、次も頑張るよ。

●島田次郎（エンジニア）

予想以上に敵が速かったですね
一発タイムは近づけられても相手側には余裕があり
レースの中では苦しい戦いでした。
課題は多く、難しい点もありますが全員で対策して行きます。

●天本秀史（チーフメカニック）

レースウィークでのトラブルが出ず、ホッとしています。
ピットワークも2回とも無難にこなせました。
次戦も皆で頑張ります。

以上、監督：星野一義、ドライバー：松田次生、ドライバー：J.P.オリベイラ、
エンジニア：島田次郎、チーフメカニック：天本秀史のコメントを含めたレース結果報告です。
ご一読頂きました上で、今後ともよろしくお願い申し上げます。

有限会社 ホシノレーシング
代表取締役社長 金子 豊

GT500 RESULT: 公式予選結果(総合結果) 2013年4月28日(日) 富士スピードウェイ 晴/ドライ(天候/コース)

Qualifying								2013.4.28
Pos.		No.	Machine	Drivers	Q2	Q1	Tyre	WH
1		36	PETRONAS TOM'S SC430	中嶋 一貴 James Rossiter	1'31.040	1'32.015	BS	
2		39	DENSO KOBELCO SC430	脇坂 寿一 石浦 宏明	1'31.432	1'31.977	BS	6
3		23	MOTUL AUTECH GT-R	柳田 真孝 Ronnie Quintarelli	1'31.488	1'32.287	MI	22
4		6	ENEOS SUSITINA SC430	大嶋 和也 国本 雄貴	1'31.581	1'32.317	BS	8
5		38	ZENT CERUMO SC430	立川 祐路 平手 晃平	1'31.701	1'32.198	BS	16
6		12	カルソニック IMPUL GT-R	松田 次生 Joao Paulo de Oliveira	1'32.031	1'32.045	BS	10
7		1	REITO MOLA GT-R	本山 哲 関口 雄飛	1'32.128	1'32.226	MI	2
8		18	ウィダー モデューロ HSV-010	山本 尚貴 Frederic Makowiecki	1'32.386	1'32.289	MI	12
9		100	RAYBRIG HSV-010	伊沢 拓也 小暮 卓史		1'32.387	BS	40
10		17	KEIHIN HSV-010	塚越 広大 金石 年弘		1'32.570	BS	30
11		8	ARTA HSV-010	Ralph Firman 松浦 孝亮		1'32.579	BS	4
12		19	WedsSport ADVAN SC430	荒 聖治 Andre Couto		1'32.607	YH	
13		24	D'station ADVAN GT-R	安田 裕信 Michael Krumm		1'32.735	YH	
14		32	EPSON HSV-010	道上 龍 中山 友貴		1'33.239	DL	
15		37	KeePer TOM'S SC430	伊藤 大輔 Audres Caldarelli		1'35.091	BS	

GT500 RESULT: 決勝結果

2013年4月29日(月) 富士スピードウェイ 晴/ドライ(天候/コース)

Race (110Laps)							2013.4.29
Pos.	No.	Machine	Drivers	Time/Diff.	Tyre	WH	
1	36	PETRONAS TOM'S SC430	中嶋 一貴 James Rossiter	2:56'05.647	BS		
2	38	ZENT CERUMO SC430	立川 祐路 平手 晃平	3.373	BS	16	
3	6	ENEOS SUSITINA SC430	大嶋 和也 国本 雄貴	20.075	BS	8	
4	39	DENSO KOBELCO SC430	脇坂 寿一 石浦 宏明	24.320	BS	6	
5	12	カルソニック IMPUL GT-R	松田 次生 Joao Paulo de Oliveira	41.542	BS	10	
6	37	KeePer TOM'S SC430	伊藤 大輔 Audres Caldarelli	42.964	BS		
7	100	RAYBRIG HSV-010	伊沢 拓也 小暮 卓史	1'32.512	BS	40	
8	8	ARTA HSV-010	Ralph Firman 松浦 孝亮	1'33.447	BS	4	
9	1	REITO MOLA GT-R	本山 哲 関口 雄飛	1Lao	MI	2	
10	18	ウィダー モデューロ HSV-010	山本 尚貴 Frederic Makowiecki	1Lao	MI	12	
11	19	WedsSport ADVAN SC430	荒 聖治 Andre Couto	1Lao	YH		
12	24	D'station ADVAN GT-R	安田 裕信 Michael Krumm	1Lap	YH		
13	32	EPSON HSV-010	道上 龍 中山 友貴	2Laps	DL		
—	23	MOTUL AUTECH GT-R	柳田 真孝 Ronnie Quintarelli	92Laps	MI	22	
—	17	KEIHIN HSV-010	塚越 広大 金石 年弘	107Laps	BS	30	

GT500 DRIVER/TEAM RANKING

Driver ranking				Team ranking			
Pos.	No.	Driver	Points	Pos.	No.	Team	Points
1	100	伊沢 拓也 小暮 卓史	24	1	100	TEAM KUNIMITSU	30
2	38	立川 祐路 平手 晃平	23	2	38	LEXUS TEAM ZENT CERMO	29
3	36	中嶋 一貴 James Rossiter	20	3	36	LEXUS TEAM PETRONAS TOM'S	25
4	17	塚越 広大 金石 年弘	15	4	6	LEXUS TEAM LeMans ENEOS	21
5	6	大嶋 和也 国本 雄貴	15	5	17	KEIHIN REAL RACING	18
6	23	柳田 真孝 Ronnie Quintarelli	11	6	39	LEXUS TEAM SARD	17
7	39	脇坂 寿一 石浦 宏明	11	7	12	TEAM IMPUL	17
8	12	松田 次生 Joao Paulo de Oliveira	11	8	23	NISMO	14
9	18	山本 尚貴 Frederic Makowiecki	7	9	18	ウィダー モデューロ 童夢 レーシング	12
10	37	伊藤 大輔 Audres Caldarelli	5	10	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	11
11	8	Ralph Firman 松浦 孝亮	5	11	37	LEXUS TEAM KeePer TOM'S	9
12	1	本山 哲 関口 雄飛	3	12	1	MOLA	8
13				13	32	NAKAJIMA RACING	4
14				14	19	LEXUS TEAM WedsSport BANDO	4
15				15	24	KONDOH RACING	4